

**保土ヶ谷区地域子育て支援拠点事業  
令和3年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ピアわらべ 保土ヶ谷区こども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 保土ヶ谷区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

## 令和3年度 重点目標の評価

令和3年度重点目標	①妊娠期の方をはじめ多様な養育者が気軽に訪れ、関わり合えるひろばを目指します。 ②自治会や子育ての関係機関、者と連携し保土ヶ谷区の親子を温かく見守る地域づくりを推進します。
取組内容	・妊娠期の方が気軽に拠点を利用し利用者と交流できるよう「プレパパ・プレママDAY」を開催します。 ・母子保健コーディネーターと連携し多様な方が拠点を利用することが出来るよう周知に取組めます。 ・医療機関(助産院)とのつながりづくりを検討していきます。 ・子育て支援連絡会全体会・エリア別子育て支援連絡会において「地域で子育て家庭を見守る大切さ」をテーマに、地域の方々と交えて話し合う場を企画し実施していきます。 ・区社会福祉協議会など地域の関係機関と連携し、子育て応援講座を開催します。 ・自治会をはじめ地域の方々と拠点を招いて、ひろば利用者と交流する機会を作ります。
取組の成果	①・母子保健コーディネーターによる周知や4月からスタートしたLINE効果により「プレパパ・プレママDAY」に毎回定員を超える申込みがありました。参加者からは「沐浴体験等のプログラムに参加したことで、赤ちゃんが産まれるのが楽しみになった」「出産後のコミュニティを教えてもらってありがたい」「赤ちゃんをむやみにゆすったりしないよう気を付けることが大切だとわかった」という声が聞かれ、その後のひろば利用にも繋がりました。 ・区の助産師の紹介で産院と繋がり、拠点リーフレットや通信などの情報提供が出来るようになりました。 ②・昨年準備を進めていた子育て支援連絡会全体会では、エリア別子育て支援連絡会の取組発表と講演会を実施し、地域住民ひとりひとりが子育て家庭を見守り、声かけしていくことの大切さを共有する事が出来ました。 ・エリア別子育て支援連絡会では自治会の会議に向いて連絡会の取組を関係機関と共に伝えたり、連絡会に参加してもらえるように自治会の方に声かけ等の働きかけを行うことが出来ました。 ・地域の中で子育てに関心を持ち、親子の成長を温かく見守り、支えてくれる人を増やしていくことを目的に、区社会福祉協議会とボランティア講座を共催し、参加者に地域の資源を紹介したことで新たな活動に繋がりました。
取組の課題	①・コロナ禍により沐浴体験等のプログラム定員に制限がかかり、全ての参加希望に応えることが出来ませんでした。 ・「妊娠期の方同士話をしたり、悩みを共有したい」というニーズに対する取り組みが十分ではありませんでした。今後はオンラインの導入も検討していきます。 ②・自治会の方々の拠点来所についてはコロナの影響もあり、積極的に取り組むことが出来ませんでした。

## 次年度重点目標

令和4年度重点目標	①妊娠期からの切れ目のない支援を行い、育児不安の軽減に努めます。 ②自治会や子育ての関係機関・者と連携し、親子を温かく見守る地域づくりを推進します。
-----------	---

取組内容	<p>①・妊娠期の方が日常的に拠点を利用することが出来るよう、チラシ(拠点案内・LINE登録)を作成し、産婦人科や商業施設等に妊娠期の方に向けて情報提供してもらえよう依頼していきます。</p> <p>・妊娠期の方のニーズを把握し、ホームページやLINEを活用した情報発信やオンラインでの交流会(当事者同士や子育ての先輩を交えた会)を企画実施していきます。</p> <p>②・子育て支援連絡会の事務局を担い、関係機関との顔の見える関係づくりや地域の特徴や課題を話し合う機会を作ることを継続していきます。</p> <p>・地域ケアプラザ等を会場に、主任児童委員会・親と子のつどいの広場と「ほどがやこどもニコニコフェスタ」を開催し、地域の子育て資源の紹介を行います。</p>
------	--